

とっとり退職者連合

速報第 46 号 2020 年 10 月 5 日

鳥取退職者連合

〒680-0847 鳥取市天神町 30-5
TEL (0857) 26-6605・FAX (0857) 26-6615
発行人・山田敏明 編集人・西村一秋

鳥取退職者連合発

■「第 28 回定期総会」終了 —2021 年度スタート—■

鳥取退職者連合は、コロナ禍での「第 28 回定期総会」の開催方法について幹事会で協議いただいた結果、「書面審議」とすることとしました。

そして、鳥取退発第 20 号 (2020. 9. 15 付) 文書で各構成組織に「議案書」と「別冊資料」を送付し、構成組織でのご意見をまとめ「回答書」を提出いただきました。

10 月 1 日 (木)、水明荘にて「第 5 回幹事会」を開催し、幹事会役員により「回答内容」を確認し「第 28 回定期総会」成立を承認させていただきましたので報告いたします。



□「第 28 回定期総会」議決結果

【議決権を有する構成組織】 9 組織

【回答書提出数】 9 組織

【議決結果】

報告事項〈2020 年度一般活動報告・会計決算報告・会計監査報告〉

承認 9 組織

承認しない 0 組織

第 1 号議案〈2021 年度活動方針 (案)〉

承認 9 組織

承認しない 0 組織

第 2 号議案〈2021 年度予算 (案)〉

承認 9 組織

承認しない 0 組織

第 3 号議案〈役員選出 (案)〉

承認 9 組織

承認しない 0 組織

※西部地区協議会選出の「副会長」と「幹事」は事務手続きが整い次第、報告させていただきます。

【提出されたご意見と回答】 下記に掲載

回答／すべてのご意見が、高齢者を取り巻く状況への危惧であり、今後予定している「鳥取県への政策・制度要求」に反映していきたいと考えます。

提出されたご意見

- ① 年々、高齢化の波は高くなるばかり。特に、女性の高齢化は著しい。
菅総理いわく「自助・共助・公助」で・・・と。自助を強調。
鳥取県、鳥取市他 (各自治体) は特に「公助」に心をくだいて下さってありがたい。
高齢化の道をまっしぐら、自分の足で立てる (生きる) ことは、自助も大切。状態によっていろいろな支援があるのはありがたい。
状態や支援が必要な場合には、それらに適しい支援をしていただければ、今まで通りお願いしたい。
- ② “社会の変化”についていけないこと。しかし、今の変化に従うだけでいいのか。(デジタル庁? では、アナログ庁も・・・)
このままいけば、どんな社会になっていくのか。私たち高齢者には先が見通せるはず。経験を生かした検証が必要な時ではないでしょうか。
- ③ 高齢者をめぐる生活の安心・安全を担保する取り組みを強化することを望みたい。
特に、新型コロナへの対応や、異常気象に伴う災害対策など、生活弱者に犠牲者が多発していることは放置できない。

2021 年度役員名簿

役職名	名 前	組 織 名
会 長	山 田 敏 明 新	東部地区協（N T T 労組退職者の会）
副 会 長	宮 本 秀 美	中部地区協（J R 西労組退職者会）
〃		西部地区協（J R 西労組退職者会）
事務局長	西 村 一 秋 新	J P 労組連協退職者の会
幹 事	角 敏 男	N T T 労組退職者の会
〃	西 村 典 道 新	J P 労組連協退職者の会
〃	伊 藤 源 蔵	自 治 退
〃	板 持 昶	J R 西労組退職者会
〃	山 田 泰 子	日教組（退女教）
〃	秋 久 正 行	日教組（鳥退教）
〃	正 木 直 志	私鉄日ノ丸退職協
〃	後 藤 康 夫	U A ゼンセンにこやか友の会
〃	植 木 忠 二	林 退 会
〃	田 中 照 幸	東部地区協（N T T 労組退職者の会）
〃	平 田 義 人	中部地区協（自 治 退）
〃		西部地区協（自 治 退）
会計監査	金 信 正 明 新	自 治 退
〃	磯 江 悦 志	私鉄日ノ丸退職協
顧 問	斎 木 兵 治 新	J R 西労組退職者会

敬称略

退任役員

前会長

斎木兵治【写真右】

〈顧問に就任〉

前執行委員

松嶋 進（J P 労組）

藤井那庶（西部地区協／
J R 西労組）【写真右】

前会計監査 有田 剛（J P 労組）

**新任役員**

【写真左から】

事務局長
幹 事
会計監査

西村一秋（J P 労組）

西村典道（J P 労組）

金信正明（自治退）

よろしく
お願いします**【新任あいさつ】**

会長 山田敏明

斎木会長退任の後をお受けしました山田です。

65 歳以上が 28.7% という高齢化社会を迎えている日本ですが、私たちを取り巻く環境は医療・年金・介護どれをとっても厳しい状況下にあります。

老後を安心して、楽しく・元気に暮らせて行ける社会を築くため、会員のみなさん、そして連合現職のみなさん、さらには私たちの活動を理解していただいている各団体のみなさんのご協力を得ながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。